

最上町に就職して

検査 木村 友維

私は、鶴岡市で生まれ育ち、幼い頃から都会で暮らすことが夢でした。しかし、高校卒業後、新潟の専門学校に進学し親元を離れることで、今まで両親から支えてもらっていたことや地元の素晴らしさを知り、山形に就職したいと考えるようになりました。



働き始めてから、もうすぐ半年になりますが、その中で、たくさんの患者さんや最上町の人たちとの出会いがありました。医院の職員の方や患者さんだけではなく、地元の催し物や勉強会に参加することで、最上町の方々の温かさに触れることができました。患者さんからの挨拶や、「これから勉強頑張ってね」と声をかけてもらうことでとても緊張がとけました。また、他の家の子供のことも、我が子のように可愛がっている姿を多く見て、最上町全体が大きな家族みたいだなあと感じます。

最上町に来て驚いたことの1つは笹巻きが白かったことです。幼い頃から笹巻きは餡色が当たり前と思っていた私にとって、おはぎのようにツブツブしていて白い笹巻きはとても衝撃的でした。鶴岡の笹巻きはモチリしていて黒蜜やきなこをつけて食べます。見た目も食感もまったく違いますが、どちらの笹巻きもとてもおいしいです。

最上町には、山や田んぼ、畑が多くあり、今から紅葉の季節が楽しみです。

まだまだ覚えることがあり勉強の毎日ですが、仕事の勉強に加え、方言の勉強も頑張りたいです。最上町のいいところを発見しつつ楽しんでいきたいと思っています。

